

日本宗教学会

第 85 回学術大会

2026 年 9 月 11 日(金)～13 日(日)

会場：東北大学 川内北キャンパス

[録画発表部会：9 月 11 日(金)～20 日(日)]

主催：日本宗教学会第 85 回学術大会実行委員会（東北大学）

共催：東北大学大学院文学研究科

お知らせとお願い

1. 受付手続きの際、名札用のケースと用紙を受け取り、会場では常に名札をつけてください。
受付では名札用のケースとともに大会名のみが書かれた名札の用紙を配布します。氏名の記載は参加者自身で行なってください。所属先の記載は任意とします。
名札は大会参加費納入済みであることを示すため、会場内では必ず、見える位置につけてください。
2. 理事会承認後の発表題目の変更、パネル発表の構成員・発表順の変更は一切認められません。
プログラムと同一にしてください。
3. 発表者は、発表の2番前に、発表会場の「発表者待機席」においでください。
4. 発表時にパソコン用プロジェクターを使用する方へ
4頁「パソコン用プロジェクターの使用に関するご注意」をお読みください。
5. 発表時に配布する資料は、数に余裕をもってご用意の上、会場係にお渡しください。
会場での複写は受け付けません。
6. 発表時間は以下のように決められています。時間厳守をお願いします。
 - ・個人発表 発表15分、質問5分、計20分（初鈴13分、二鈴15分、三鈴20分）
 - ・パネル発表 「発表者数×5分」をフロアからの質問時間として確保ください。
それ以外の時間配分は、パネル運営者にお任せします。
7. 発表会場間の移動、及び、プロジェクターの準備に時間が必要なことを考慮して、個人発表終了後に5分間の休憩時間を設けています。この5分間を議論の延長などに使うことのないようお願いします。
8. 発表の取り消しがあった場合でも、その後の発表は時間を繰り上げることなく、プログラム記載の時間に発表して頂きます。
9. 理事会承認後の発表取り消しは原則として認められません。やむを得ぬ事情により発表を辞退せざるを得なくなった場合は、できるだけ速やかに、大会実行委員会に連絡をしてください。
10. 『宗教研究』別冊用要旨について
18頁『宗教研究』別冊用要旨 作成と提出の注意に従って作成し、9月18日（金）までに、編集委員会に送信してください。
パネル発表は、代表者が全員分をとりまとめて、編集委員会に送信してください。
11. 会場の配置については、20頁をご覧ください。
12. 録画発表部会の詳細については、参加申込者にメールで送られるご案内をご覧ください。

大会受付	9月11日(金)	マルチメディア教育研究棟1階エントランス
	9月12-13日(土・日)	C棟1階南通路
大会実行委員会本部	9月11日(金)	マルチメディア教育研究棟1階ラウンジ
	9月12-13日(土・日)	C棟1階C104
荷物置き場（自己管理）	9月11日(金)	マルチメディア教育研究棟1階ラウンジ
	9月12-13日(土・日)	C棟1階C103
会員休憩場所	9月12-13日(土・日)	C棟2階C203・3階C303～C306

大会日程

9月11日（金）

理事会	マルチメディア教育研究棟2階 マルチメディアホール	11:00—12:00
開会式・公開シンポジウム	マルチメディア教育研究棟2階 マルチメディアホール	13:20—16:30
評議員会	マルチメディア教育研究棟2階 マルチメディアホール	17:00—18:00

9月12日（土）

研究発表（個人）	C棟1～3階 各会場	9:00—12:40
研究発表（個人・パネル）	C棟1～3階 各会場	13:30—15:30
会員総会	マルチメディア教育研究棟2階 マルチメディアホール	15:50—17:10
* 交流会	Sky KAWAUCHI Forest (川内厚生会館)	17:30—19:00

9月13日（日）

研究発表（個人）	C棟1～3階 各会場	9:00—12:40
* 男女共同参画・若手研究者 支援委員会 情報交換会	C棟3階 C307	12:45—13:25
研究発表（パネル）	C棟1～3階 各会場	13:30—15:30

* 交流会

日時	9月12日（土）17:30—19:00
場所	Sky KAWAUCHI Forest (川内厚生会館)
対象	本学会の会員
参加費	不要
事前申込	不要
開催形式	立食 軽食と飲み物をご用意していますので、ぜひご参加ください。



* 男女共同参画・若手研究者支援委員会 情報交換会

日時	9月13日（日）12:45—13:25
場所	C棟3階 C307
開催形式	対面開催 また、録画発表部会の質疑応答用 Slack（9月4日（金）～9月20日（日））にも 当委員会「情報交換会」チャンネルを設置しています。
対象	本学会の会員
参加人数	最大30名程度
事前登録	不要
内容	男女共同参画・若手研究者支援に関する情報交換会を開催します。 本学会の会員であれば誰でも出席できますので、奮ってご参加ください。 本学会における活動で困っていること、改善して欲しいこと、本学会における男女 共同参画・若手支援に関して期待すること、についてグループに分かれて情報交換 したうえ、全体共有をします。

大会実行委員会からのお知らせ

ご参加いただくにあたり、事前に下記についてご確認くださいませよう、お願い申し上げます。

- (1) キャンパスマップ、会場へのアクセスについては 19 頁、20 頁をご覧ください。
- (2) 自家用車での来場はご遠慮ください。
- (3) スーツケース等の荷物置き場は用意いたしますが、管理者は配置しません。ご自身で置き、自己責任で管理・回収願います。貴重品・衣服の取り扱いには十分ご注意ください。万が一、回収をお忘れになった場合、着払いでの送付には対応いたします。
- (4) 大学食堂及び学内の売店は、土日は営業しておりません。大学構内や近隣に飲食店やコンビニエンスストアはありませんので、昼食はあらかじめ用意してご持参ください。教室では飲食が可能です。
- (5) 会場にはコピー機の用意がありませんので、配布資料などは部数に余裕をもって予め各自でご用意ください。
- (6) 大会参加者向けのゲスト Wi-Fi は提供いたしません。Eduroam のアクセス権をお持ちの方は、Eduroam をご利用いただけます。
- (7) キャンパス内は禁煙です。ご協力をお願いします。
- (8) 台風などにより開催状況に変更が生じた場合は、大会ホームページの「大会実行委員会特設サイト」を通じてお知らせします。
- (9) 大会前日及び期間中に緊急に連絡する必要がある場合、下記にメールでお知らせください。
第 85 回学術大会実行委員会 jars85th(at)gmail.com (at)を@に変えて送信してください。
- (10) 本大会は、東北大学大学院文学研究科との共催という形で開催させていただいております。皆様のご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。
- (11) 交流会は参加費、事前申し込み等不要です。軽食と飲み物をご用意していますので、ぜひご参加ください。

パソコン用プロジェクターの使用に関するご注意

会場となる教室にはプロジェクター類が設置されています。使用する方は、以下の注意を熟読してください。

プロジェクター類を使用する場合は、必ず、各自でパソコン等を持参してください。持参されない場合、プロジェクター類の使用はできませんので、ご注意ください。

発表会場で使用するプロジェクター類は、HDMI のみに対応しています（プロジェクター類からは下図のようなケーブルが出ていますので、持参したパソコン等に差し込んで使用してください）。

これ以外の接続方式や端子（VGA、DVI、USB、Lightning など）には対応していません。

また、会場には HDMI への変換アダプター等の用意ありません。変換アダプター等は必要に応じて各自ご持参ください。



なお、会場スタッフは接続等に関してサポートすることができません。あらかじめご了承ください。

第 85 回学術大会実行委員会

公開シンポジウム

狩猟文化と宗教儀礼

趣 旨

近年、クマによる人身被害や農作物被害が全国各地で報じられるようになった。ニュース映像では、人里を歩く親子グマの姿を目にすることも少なくない。「クマは駆除されました」とニュースが締めくくられると、なんともやり切れない気持ちになる。もっとクマと仲良くできないのか、人間と動物は生態系の中で調和を保って共存してきたのではなかったのかと。

しかし、言うまでもなく、生きるということは他者のいのちを奪って食べることでもある。現代人はその現実から目を背けているが、それが人類の歴史を通じて変わることなく続いている現実である。あらゆる宗教はいのちのかけがえのなさを説きながら、残酷な現実を生きる人間に対して、他者のいのちを奪う際の適切な作法を定め、またその行為を正当化するためのロジックを考え出してきた。それによって、人間はいのちが循環する生態系の中で、いのちに感謝をささげながら生きることができる。だが、昨今の獣害報道が端的に示すように、そのような調和には亀裂がつきものであり、メンテナンスとアップデートを繰り返すことでどうにか持続してきたものでもある。

シンポジウムでは、狩猟をなりわいとしてきたアイヌやマタギの営みを手がかりに、宗教儀礼や説話の中でいのちを奪って生きることがどのように位置づけられてきたのか、現代人の生き方につながる問題として語っていただく。

日 時 2026 年 9 月 11 日（金）13：20－16：30

会 場 東北大学川内北キャンパス マルチメディア教育研究棟 2 階マルチメディアホール

次 第 趣旨説明 高橋 原（東北大学教授）

第 1 報告 西村 直子（東北大学教授）

第 2 報告 竹之内 裕文（静岡大学教授）

第 3 報告 馬場 裕美（東北大学特任研究員〈日本学術振興会特別研究員〉）

コメント 田中 雅一（国際ファッション専門職大学教授）

司会 高橋 原

登壇者紹介

西村 直子／にしむら なおこ（東北大学教授）

東北大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士（文学）。『放牧と敷き草刈り——Yajurveda-Saṁhitā 冒頭の mantra 集成とその brāhmaṇa の研究』（東北大学出版会、2006 年）、『GAV——古インド・アーリヤ語文献における牛』（共著、総合地球環境学研究所インダスプロジェクト、2012 年）、*The Bloomsbury Handbook of Hindu Ethics*（分担執筆、Bloomsbury Publishing, 2026）など。

竹之内 裕文／たけのうち ひろぶみ（静岡大学教授）

静岡大学未来社会デザイン機構副機構長、農学部・創造科学技術大学院教授。東北大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士（文学）。東北大学大学院文学研究科助手、静岡大学農学部・創造科学技術大学院准教授を経て、2010 年 4 月より現職。ボロース大学健康科学部客員教授（2011-12 年）、グラスゴー大学学際専攻研究科客員教授（2022 年）。共編著『農と食の新しい倫理』（昭和堂、2018 年）により地域農林経済学会特別賞（2019 年度）を、単著『死とともに生きることを学ぶ 死すべきものたちの哲学』（ポラーノ出版、2019 年）により第 14 回日本医学哲学・倫理学会賞を、研究発表「『死』は共有可能か？ ハイデガーと和辻との対話」（2023 年）により第 8 回ハイデガー・フォーラム渡邊二郎賞を受賞。

馬場 裕美／ばば ゆみ（東北大学特任研究員）

東北大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士（文学）。「アイヌ口承説話における「熊送り」の検討——「互酬性の物語」の理解を目指して」『東北宗教学』18（2022 年）、「アイヌ悪熊退治譚の検討——「悪」の包摂と排除をめぐる」『論集』50（2024 年）、「悪熊追放——アイヌ口承説話における悪と互酬性をめぐる宗教人類学的研究」（博士論文、2026 年）など。

田中 雅一／たなか まさかず（国際ファッション専門職大学副学長・京都大学名誉教授）

1955 年生まれ。ロンドン大学経済政治学院（LSE）博士課程修了。Ph.D.（Anthropology）。『供犠世界の変貌』（法蔵館、2002 年）、『癒しとイヤラシ——エロスの文化人類学』（筑摩書房、2010 年）、『誘惑する文化人類学』（世界思想社、2018 年）、『女神——聖と性の人類学』（編著、平凡社、1998 年）、『フェティシズム研究 全 3 巻』（編著、京都大学学術出版会、2009-17 年）、『ジェンダーで学ぶ宗教学』（共編著、世界思想社、2007 年）、『トラウマ研究 全 2 巻』（共編著、京都大学学術出版会、2018-19 年）など。

高橋 原／たかはし はら（東北大学教授）

1969 年生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了。博士（文学）。『ユングの宗教論』（専修大学出版局、2005 年）、『死者の力』（共著、岩波書店、2021 年）など。

第1部会 (C棟1階 C101)

9月12日(土)

【午前】

- | | | |
|----------------|--|---------------|
| 1. 9:00-9:20 | 近世イングランド国教徒として「宗教」を記述する意義への一考察 | 河底 佑佳 (東大) |
| 2. 9:25-9:45 | 「宗教」の胎動ークザースの『信仰の平和』を中心にー | 島田 勝巳 (天理大) |
| 3. 9:50-10:10 | 宗教概念論の新展開?ーM・バルグンダーのグローバル宗教史ー | 岡田 勇督 (東北学院大) |
| 4. 10:15-10:35 | 宗教概念の残余範疇的性格の検討 | 諸岡 了介 (島根大) |
| 5. 10:40-11:00 | Nature/Lived religion の視座の系譜と「非宗教社会」の宗教性 | 平良 直 (倫理研究所) |
| 6. 11:05-11:25 | 利他についての宗教学的考察 | 村上 辰雄 (上智大) |
| 7. 11:30-11:50 | 近代西欧宗教史におけるC・P・ティーレの宗教学構想の位置 | 久保田 浩 (明治学院大) |
| 8. 11:55-12:15 | 「東方へ拡張」するIAHRー1958年大会・AAグループ・岸本英夫ー | 西村 明 (東大) |
| 9. 12:20-12:40 | ジェンダー変容をめぐる言説と行為の意味 | 松村 一男 (和光大) |

【午後】パネル

危機の時代の宗教学ー20世紀政治思想との交錯ー

代表者: 江川 純一

- | | | |
|-------------|------------------------|----------------|
| 13:30-15:30 | トレルチの政治思想と宗教理念の比較研究 | 野川 祈 (東大) |
| | ファン・デル・レーウの宗教理念と戦後社会思想 | 久保 大生 (東北大) |
| | ペッタッツォーニの宗教史学と政治思想 | 江川 純一 (東大) |
| | エリアーデの神話創作と政治思想 | 奥山 史亮 (北海道科学大) |

コメンテータ: 深澤 英隆 (一橋大)

司会: 江川 純一 (東大)

9月13日(日)

【午前】

- | | | |
|----------------|------------------------------|-----------------|
| 1. 9:00-9:20 | カトリックにおける倫理思想と学問の自由 | 平山柊一郎 (上智大) |
| 2. 9:25-9:45 | テウルギアにおける天体の立ち位置 | 寺島 奈那 (早大) |
| 3. 9:50-10:10 | 典礼に臨む眼ーR・グアルディーニの“感覚の神学”ー | 清水 康宏 (群馬県立女子大) |
| 4. 10:15-10:35 | 知の完成ーボナヴェントゥラの神学にもとづいてー | 平野和歌子 (龍大) |
| 5. 10:40-11:00 | ボンヘッフアーのキリスト教倫理における異教徒・無宗教者 | 逢坂 暁乃 (早大) |
| 6. 11:05-11:25 | 悪しき神への抗議の行方ーロスの「抗議の神義論」の展開ー | 南 翔一郎 (南山大) |
| 7. 11:30-11:50 | 苦難と発展ー神義論から見るマルサス人口論ー | 山崎 好裕 (福岡大) |
| 8. 11:55-12:15 | 「聖徒の交わり」の再考ー死別や社会的死の経験の視座からー | 三浦 ふみ (上智大) |
| 9. 12:20-12:40 | 中国浄土教と東方キリスト教の称名の実践と思想の比較 | 久松 英二 (龍大) |

【午後】パネル

『神秘的経験の諸相』を読む

代表者: 葛西 賢太

- | | | |
|-------------|--------------------------------|-----------------|
| 13:30-15:30 | 諸相がひらいた扉ーサイケデリック・ルネサンスの萌芽ー | 葛西 賢太 (上智大) |
| | 著者らは神秘的体験をなぜ、どのように科学したのか? | 杉岡 良彦 (京都府立医科大) |
| | 物理的状态として解明された宗教経験をいかに受け止めるべきか? | 沖永 宜司 (帝京科学大) |

コメンテータ: 村上 晶 (駒大)

コメンテータ: 柳澤 田実 (関西学院大)

司会: 葛西 賢太 (上智大)

第2部会 (C棟1階 C102)

9月12日(土)

【午前】

- | | | |
|----------------|--|---------------|
| 1. 9:00-9:20 | ジョルジュ・バタイユにおける「罪」の二重性 | 林 淳 (京大) |
| 2. 9:25-9:45 | 「魂に対する態度」再考-AIと他我問題- | 松野 智章 (東洋大学) |
| 3. 9:50-10:10 | 燦爛する言葉への信-M・ド・セルトーと「蛭」のゆくえ- | 渡辺 優 (東大) |
| 4. 10:15-10:35 | 宗教の土着性についての哲学的再考-ヴィドゥーナスの場合- | 後藤 正英 (佐賀大) |
| 5. 10:40-11:00 | ハンナ・アーレントにおける奇跡について | 坪光 生雄 (東大) |
| 6. 11:05-11:25 | カイザーリングの「智恵の学園」が目指したもの | 藁科 智恵 (防衛大) |
| 7. 11:30-11:50 | The Socio-Linguistic Background of the Concept of Sin in Kierkegaard's Religious Thought | KINOSE Kōta |
| 8. 11:55-12:15 | キルケゴールにおけるイサクの供犠と反復 | 中路 正恒 (京都芸術大) |
| 9. 12:20-12:40 | キルケゴール著『キリスト教的講話』思想の本質 | 中里 巧 (東洋大) |

【午後】パネル

柳川啓一は何を残したのか-生誕100年記念パネル-

代表者: 竹沢尚一郎

13:30-15:10 柳川啓一と祭り研究

関 一敏

柳川啓一と人類学

竹沢尚一郎 (国立民博)

柳川啓一とイニシエーション

島田 裕巳 (東京通信大)

コメンテータ: 山崎 亮 (島根大)

司会: 竹沢尚一郎 (国立民博)

9月13日(日)

【午前】

- | | | |
|----------------|-------------------------------|---------------|
| 1. 9:00-9:20 | (発表なし) | |
| 2. 9:25-9:45 | 生命倫理と環境倫理を宗教論・文明論として語るということ | 鶴沢 祐汰 (東大) |
| 3. 9:50-10:10 | ニコライ堂の人びとの宗教哲学 | 古荘 匡義 (大阪公立大) |
| 4. 10:15-10:35 | 石津照璽の宗教哲学と無の問題 | 伊原木大祐 (京大) |
| 5. 10:40-11:00 | 熟慮的思考と信仰 | 林 研 (岩手医科大) |
| 6. 11:05-11:25 | 和辻哲郎における宗教体験と歴史性-『倫理学』の再検討- | 深谷 耕治 (天理大) |
| 7. 11:30-11:50 | ジャン=マリー・マイユールのライシテ研究-その意義と文脈- | 田中 浩喜 (明大) |
| 8. 11:55-12:15 | 宗教研究データベースの構築と活用-質問紙調査一覧を例に- | 藤井 修平 (國學院大) |
| 9. 12:20-12:40 | マーケット論とスピリチュアリティ-理論的視点から- | 山中 弘 (筑波大) |

【午後】パネル

井筒哲学の比較宗教学的探究

代表者: 澤井 義次

13:30-15:30 井筒俊彦とモッラー・サドラーのイスラーム思想

鎌田 繁 (東大)

井筒「東洋哲学」と鈴木大拙の禅思想

長岡 徹郎 (阪大)

井筒俊彦と言語哲学

小野 純一 (自治医科大)

井筒俊彦と宗教現象学

澤井 義次 (天理大)

コメンテータ: 鶴岡 賀雄 (東大)

司会: 澤井 義次 (天理大)

第3部会 (C棟1階 C105)

9月12日(土)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|---------------|
| 1. 9:00-9:20 | (発表なし) | |
| 2. 9:25-9:45 | (発表なし) | |
| 3. 9:50-10:10 | (発表なし) | |
| 4. 10:15-10:35 | 神と「仲良くする」儀礼ー古代エジプトの神殿で何が行われたかー | 深谷 雅嗣 (名大) |
| 5. 10:40-11:00 | 神名ヘルメス・トリスメギストスの起源 | 田代 英樹 (西南学院大) |
| 6. 11:05-11:25 | 宗教儀礼における音響空間の形成 | 細田あや子 (新潟大) |
| 7. 11:30-11:50 | 古代末期地中海世界におけるオルフェウス表象受容 | 中西 恭子 (津田塾大) |
| 8. 11:55-12:15 | ヒンドゥー教の生成・展開・拡大ー現代ディアスポラからの洞察ー | 山下 博司 (東北大) |
| 9. 12:20-12:40 | 後期シヴァ教文献に見られる王権儀礼 | 高島 淳 (東京外国語大) |

【午後】パネル

日本における暦と近世・近代宗教史

代表者：岡田 正彦

- | | | |
|-------------|--------------------------|-------------------|
| 13:30-15:30 | 日の吉凶の選別と天文地理の学知ー西川如見を中心ー | 馬場真理子 (国立歴史民俗博物館) |
| | 平田篤胤における古暦探究 | 林 淳 (東洋大) |
| | 近世における梵暦学の隆盛と近代仏教 | 岡田 正彦 (天理大) |
| | 明治改暦と神社例祭日の再編 | 下村 育世 (青森公立大) |

コメンテータ：中牧 弘允 (国立民俗博物館)

司会：岡田 正彦 (天理大)

9月13日(日)

【午前】

- | | | |
|----------------|---|--|
| 1. 9:00-9:20 | 中世初期西欧における儀礼・典礼(論) 研究の課題と展望 | 柴田峻太郎 (東大) |
| 2. 9:25-9:45 | ハスダイ・クレスカスのキリスト教論駁ー教義の非合理性ー | 志田 雅宏 (静岡県立大) |
| 3. 9:50-10:10 | マイモニデスの預言者論とエゼキエルの失敗 | 法貴 遊 (京大) |
| 4. 10:15-10:35 | J. S. デルメディゴにおける宗教知と科学知の関係 | 李 美奈 (東大) |
| 5. 10:40-11:00 | イスラエル建国前後のラヴ・クック像 | 犬塚 悠太 (東大) |
| 6. 11:05-11:25 | Rabbinic Conversion, Ritual Speech, and Boundary Formation in the Babylonian Talmud | SAKURAI Joe (Teikyo University of Science) |
| 7. 11:30-11:50 | 精滴と凝血と肉塊とー神学者ラズビーの発生論ー | 矢口 直英 (東大) |
| 8. 11:55-12:15 | ムスリムと「人種」の概念的系譜ーイスラームへの改宗からー | 和田 知之 (東大) |
| 9. 12:20-12:40 | 11世紀におけるキリスト教徒とユダヤ人の対話 | 矢内 義顕 (早大) |

【午後】パネル

〈憲法作者〉としての聖徳太子ー日本宗教史の視座からー

代表者：オリオン・クラウタウ

- | | | |
|-------------|-----------------------|------------------|
| 13:30-15:30 | 親鸞と憲法十七条ーその接点をめぐる問題ー | 遠藤美保子 |
| | 批判の陰の称賛ー近世人が読んだ太子憲法ー | 菊池 圭祐 (國學院大) |
| | 憲法十七条と神道学ー加藤玄智を中心としてー | オリオン・クラウタウ (東北大) |
| | 日本画の聖徳太子像ー旧最高裁壁画を中心にー | 君島 彩子 (和光大) |

コメンテータ：佐藤 弘夫 (東北大)

司会：オリオン・クラウタウ (東北大)

第4部会（C棟1階C106）

9月12日（土）

【午前】

- | | | |
|----------------|-------------------------------|------------------|
| 1. 9:00-9:20 | (発表なし) | |
| 2. 9:25-9:45 | 摂関・院政期における軒廊御卜の周辺一先例の勘申をめぐって一 | 坂田 亮弥 (佛教大) |
| 3. 9:50-10:10 | 出雲の龍蛇神と早人神の史的考察 | 向山 貴子 (総合研究大学院大) |
| 4. 10:15-10:35 | 平安前・中期の「妖言」禁制とその変容 | 北畠 浄光 (龍大) |
| 5. 10:40-11:00 | 笠間稲荷神社における地域振興と展覧会事業 | 江原 知華 (大正大) |
| 6. 11:05-11:25 | 吉見幸和の神霊観 | 城所 喬男 (東北大) |
| 7. 11:30-11:50 | 霧島山天逆鉾をめぐり薩摩の信仰と平田篤胤の神学 | 相澤みのり (佛教大) |
| 8. 11:55-12:15 | 過渡期の不二道教主理性院行雅 | 内田 裕一 |
| 9. 12:20-12:40 | 式内社顕彰思想の変容一十七世紀日本の復古思想と自国意識一 | 井上 智勝 (埼玉大) |

【午後】パネル

2024年能登半島地震における災害復興と宗教文化

代表者：井川 裕覚

- | | | |
|-------------|-------------------------------|-------------|
| 13:30-15:30 | 災害復興における仏教系NGOの活動と地域レジリエンスの構築 | 朴 慧晶 (東北大) |
| | 能登半島地震におけるキリスト者の災害・復興支援をめぐって | 桑野 萌 (清泉大) |
| | 臨床宗教師による地域ケアから被災地支援への展開 | 井川 裕覚 (東北大) |
| | 宗教性、身体性、生きる力ー能登の祭りから考えるー | 小西 賢吾 (京大) |

コメンテータ：木村 敏明 (東北大)

司会：井川 裕覚 (東北大)

9月13日（日）

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|----------------|
| 1. 9:00-9:20 | 近代における神話的場所の形成ー黄泉平坂伝説碑の成立を通してー | 武田佑希子 (北海学園大) |
| 2. 9:25-9:45 | 戦時期東北の神仏闘争ー福島のアノミヤと山形の角張東順ー | 木村悠之介 (東北大) |
| 3. 9:50-10:10 | 戦間期・戦中における「迷信の打破」と奇術師の活動 | 伊藤 優 (駒大) |
| 4. 10:15-10:35 | 近代における神社の地域教育ー乃美学舎の事例からー | 斉藤 弘樹 (広島国際大) |
| 5. 10:40-11:00 | 禁止訓令後の日本の公教育と宗教ー宗教系学校による特典取得ー | 高瀬 航平 (京大) |
| 6. 11:05-11:25 | 神道三穂教会における安産儀礼について | 並木 英子 (国際基督教大) |
| 7. 11:30-11:50 | モノに重層する歴史的空間ー寺社への奉納物にみる近代の戦争ー | 原 英子 (岩手県立大) |
| 8. 11:55-12:15 | 国柱会の分派ー戦後の精華会運動の事例からー | 内村 琢也 |
| 9. 12:20-12:40 | 宗教法人法制における団体の宗教性 | 村上 興匡 (大正大) |

【午後】パネル

更新される定義から考えるスピリチュアルケア

代表者：山本佳世子

- | | | |
|-------------|--------------------------------|-----------------|
| 13:30-15:10 | 到達点を想定しないスピリチュアルケアは可能か | 山本佳世子 (天理大) |
| | 四層構造で考えるスピリチュアルケア定義 | 谷山 洋三 (東北大) |
| | チャプレン兼臨床心理士が考えるスピリチュアルケアの定義 | 岩井 未来 (龍大) |
| | 看護との差異から再考するチャプレンのスピリチュアルケアの定義 | 野口 恵子 (救世軍清瀬病院) |

司会：山本佳世子 (天理大)

第5部会（C棟2階C201）

9月12日（土）

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|-----------------------|
| 1. 9:00- 9:20 | 「エロ・グロ・ナンセンス」における「魔術」―酒井潔を中心に― | 崔 瑜娜（東北大） |
| 2. 9:25- 9:45 | オカルトと「性の革命」―歌川大雅による真言立川流の再発見― | 韓 相允（東北大） |
| 3. 9:50-10:10 | 修験道研究の誕生―和歌森太郎と村上俊雄の1943年― | アントニオ・フェルナンデス＝カロ（東北大） |
| 4. 10:15-10:35 | 修養・武士道・宗教倫理とジェンダー―加藤咄堂を中心に― | 山口 陽子（東北大） |
| 5. 10:40-11:00 | 日本統治下台湾における敬神思想と教化―正庁改善運動を中心に― | 原田 雄斗（早大高等学院） |
| 6. 11:05-11:25 | 戦後日韓宗教学交流史序説 | 朴 炳道（慶尚国立大） |
| 7. 11:30-11:50 | 植民地の巫女と帝国の神道―明道会の事例に注目して― | 朴 海仙（立命館大） |
| 8. 11:55-12:15 | 天理教の分教会所設置のいきさつ | 澤井 治郎（天理大） |
| 9. 12:20-12:40 | 『茨木基敬公三代様一代記之骨子 上巻』の公開について | 村山 元理（駒大） |

【午後】パネル

宗教実践におけるAIの活用について

代表者：木村 武史

- | | | |
|-------------|--------------------------------|--------------|
| 13:30-15:30 | 創価学会におけるAIの活用事例 | 井上 大介（創価大） |
| | 神道におけるAIの活用事例 | 黒崎 浩行（國學院大） |
| | スピリチュアリティ実践者における生成AI利用の調査と分析 | 堀江 宗正（東大） |
| | イスラームの教義回答（ファトワー）における生成AI活用の試み | 塩崎 悠輝（静岡県立大） |

コメンテータ・司会：木村 武史（筑波大）

9月13日（日）

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|--------------|
| 1. 9:00- 9:20 | 明治期の反キリスト教運動―両全教社を中心に― | 小前ひろみ（大正大） |
| 2. 9:25- 9:45 | 松山高吉における神道とキリスト教 | 藤原 直美（東大） |
| 3. 9:50-10:10 | 私的信仰から公共宗教へ―日本基督教連盟と全国教化運動― | 王 子銘（東大） |
| 4. 10:15-10:35 | 長島愛生園におけるキリスト教の諸相 | 松岡 秀明（東大） |
| 5. 10:40-11:00 | 信仰共同体再結成をめぐる合意形成―戦後キリスト友会を事例に― | 岩室 彩夏（東京科学大） |
| 6. 11:05-11:25 | フランス人の目に映った日本の宗教／無宗教 | 伊達 聖伸（東大） |
| 7. 11:30-11:50 | 日本キリスト教史と日本仏教史における「近代」を考える | 星野 靖二（國學院大） |
| 8. 11:55-12:15 | 近代日本における宣教師メディアの神道言説 | 佐藤 教通（國學院大） |
| 9. 12:20-12:40 | 敗戦直後の松村克己―近代日本のキリスト者における戦中・戦後― | 村松 晋（聖学院大） |

【午後】パネル

宗教文化とAI利用―知識・言語・表現・語りの現在―

代表者：石田 友梨

- | | | |
|-------------|--------------------------------|------------|
| 13:30-15:10 | テキスト化できない宗教文化の継承とAI | 石田 友梨（岡山大） |
| | 消滅危機言語の宗教文化継承を支えるAI駆動型研究 | 宮川 創（筑波大） |
| | 宗教的レトリックのAI生成を通じた新機能制作と文化教育の試み | 永原 順子（阪大） |
| | 宗教文化・歴史をめぐる語り―自律化と人・AI協働― | 濱田 陽（帝京大） |

司会：石田 友梨（岡山大）

第6部会 (C棟2階 C202)

9月12日(土)

【午前】

- | | | |
|----------------|------------------------------|-----------------------|
| 1. 9:00-9:20 | (発表なし) | |
| 2. 9:25-9:45 | 記憶のメディアエーション—解脱上人貞慶の講式と儀礼空間— | アレクサンダー・ダイブラーム (マギル大) |
| 3. 9:50-10:10 | 『念佛往生得失記』の教理的分析和伝明遍作伝承の検証 | 那須 一雄 |
| 4. 10:15-10:35 | 中世真言密教におけるアビダルマ教学の受容と解釈 | 亀山 隆彦 (京大) |
| 5. 10:40-11:00 | 近世真言宗僧の陰陽道観—音利房盛典を中心に— | 小池 淳一 (国立歴史民俗) |
| 6. 11:05-11:25 | 日清戦争期における天台宗と鎮護国家 | 小林 惇道 (大正大) |
| 7. 11:30-11:50 | 大正蔵本縁部における老いの表象の予備調査 | 日高 明 (相愛大) |
| 8. 11:55-12:15 | 『八千頌般若経』形成の道のり—編集文献学の視点から— | 庄司 史生 (立正大) |
| 9. 12:20-12:40 | インド哲学・仏教における「2種の否定辞機能」再検討 | 丸井 浩 (京都先端科学大) |

【午後】国際委員会企画パネル 13:30-15:30

Teaching Japanese Religions to International Students		Convener : KOBAYASHI Naoko
What Happens When We Study Religion in Japan? Reflections from ISJP	Esben PETERSEN	(Kwansei Gakuin Univ.)
“Skeptics and Admirers”: Navigating Demographic Gaps in Teaching Japanese Religion	OMORI Hisako	(Akita International Univ.)
How to Spark Interest in Japanese Religions Across Diverse Classrooms	Tim GRAF	(Kanazawa Univ.)
Teaching Japanese Religions to International Students at the Graduate Level	Caleb CARTER	(Kyushu Univ.)
		Commentator : KOBAYASHI Naoko (Aichi Gakuin Univ.)
		Chair : Caleb CARTER (Kyushu Univ.)

9月13日(日)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|----------------------|
| 1. 9:00-9:20 | 聖徳太子講の総合的考察—信仰から芸能・地域社会へ— | 杉浦 敏治 (愛知学院大) |
| 2. 9:25-9:45 | 仙台藩と土御門家 | 太田 俊明 |
| 3. 9:50-10:10 | 善導における罪惡観—地獄の理解に着目して— | 眞田 慶慧 (龍大) |
| 4. 10:15-10:35 | 末法思想の諸要素と道綽浄土教 | 福井 順忍 (龍大) |
| 5. 10:40-11:00 | 近世浄土教の仏身尊閣受容と神祇 | 神居 文彰 (平等院ミュージアム鳳翔館) |
| 6. 11:05-11:25 | 佛都新報社・倉島鬼成の理念と活動 | 塚田 穂高 (文教大) |
| 7. 11:30-11:50 | 戦後日本における「真俗二諦」の語り方—柏原祐泉を中心として— | 山本 蛭太 (東北大) |
| 8. 11:55-12:15 | 移民から北米仏教団開教使へ—増永大見とオックスナード仏教会— | 打本 弘祐 (龍大) |
| 9. 12:20-12:40 | 「煩惱菩提体無二」考—『高僧和讃』『曇鸞讃』を手がかりに— | 那須 英勝 (龍大) |

【午後】パネル

日本の近現代の巡礼から「衰退」の言説を再考する		代表者 : ケイレブ・カーター
13:30-15:30	明治時代における太宰府天満宮の参詣講の断絶と再生	ヤン・ハウスマン (九大)
	近代の誕生、現代の復活—「聖地巡礼」現象の構築過程を中心に—	ラディティヤ・ヌラディ (国立歴史民俗)
	御嶽山における持続可能性の模索—御嶽講と現代登山の共存—	小林奈央子 (愛知学院大)
	文化財は巡礼の衰退の原因?—千社札の事例をめぐって—	ケイレブ・カーター (九大)
		コメンテーター : 浅川 泰宏 (埼玉県立大)
		司会 : 小林奈央子 (愛知学院大)

第7部会 (C棟2階 C205)

9月12日(土)

【午前】

1. 9:00-9:20 (発表なし)
2. 9:25-9:45 (発表なし)
3. 9:50-10:10 (発表なし)
4. 10:15-10:35 宮沢賢治の文学—異空間の研究としてのクィックゴールドー 佐藤 伸郎
5. 10:40-11:00 寺院附属教会講社と宗教活動 石原 和 (同朋大)
6. 11:05-11:25 『立正安国論』進覧の仲介者「宿屋入道」をめぐって 矢吹 康英 (立正大)
7. 11:30-11:50 日蓮における「一念三千」と「一念三千の成仏」 間宮 啓壬 (身延山大)
8. 11:55-12:15 近世仏教戒律復興—安房清澄寺の天瑞作虚空蔵菩薩像をめぐって— 高松世津子 (岐阜工業高専)
9. 12:20-12:40 江戸における流行神出現とその背景—日蓮宗の守護神を中心に— 望月 真澄 (身延山大)

【午後】発表なし

9月13日(日)

【午前】

1. 9:00-9:20 (発表なし)
2. 9:25-9:45 (発表なし)
3. 9:50-10:10 フランスにおける禅僧弟子丸泰仙の活動とそのネットワーク 輝元 泰文 (東大)
4. 10:15-10:35 戦後日本における居士禅と「新大乘」 李 詩晴 (東北大)
5. 10:40-11:00 夢窓疎石の神祇観 余 新星 (花園大)
6. 11:05-11:25 近世黄檗宗における尼僧の法系譜 仲田 侑加 (神戸大)
7. 11:30-11:50 近世期五山・林下禅寺院における入院儀礼 金子 奈央 (中村元東方研究所)
8. 11:55-12:15 大学禅サークルに関する基礎的考察 武井 謙悟 (佛教大)
9. 12:20-12:40 「十牛図」に関する精神分析的・宗教哲学的一考察 西村 則昭 (仁愛大)

【午後】パネル

宗教(史)観の戦中と戦後—キリスト教・真宗・禅と「日本」—		代表者: 飯島 孝良
13:30-15:30	「無教会主義」の変容—藤田若雄らによる矢内原忠雄批判の射程—	赤江 達也 (関西学院大)
	植村海老名論争の語りと系譜—戦後日本における神学傾向の変遷—	三輪 地塩 (同志社大)
	戦争の歴史化と教団改革運動—真宗大谷派と靖国問題—	宮部 峻 (関西大)
	戦中から戦後の禅思想—市川白弦の戦時体制批判と「剣禅一如」—	フィリッポ・ペドレッティ (駒大)
司会・コメンテータ: 飯島 孝良 (花園大)		

第8部会 (C棟2階 C206)

9月12日(土)

【午前】

- | | | |
|----------------|----------------------------------|-----------------------|
| 1. 9:00-9:20 | 供養はいかに成立するのかー札打ちの物質的操作ー | 王 伊寧 (東北大) |
| 2. 9:25-9:45 | 墓の付属品としての供養塔の普及ー仙台市泉区根白石を事例にー | 渡邊 直登 (東北大) |
| 3. 9:50-10:10 | 寺院の境内における小型地藏尊の像の場 | アリーセ・ドンネレ (東北学院大) |
| 4. 10:15-10:35 | 死装束は死をどう表象するのかー遺影との比較からー | 岸根 紗葵 (国際ファッション専門職大) |
| 5. 10:40-11:00 | フーコーで墓地行政を読むー沖縄の墓地埋葬法の運用と衛生観念ー | 牛窪 彩絢 (東北大) |
| 6. 11:05-11:25 | タイの死者祭祀ー仏教寺院を中心とする葬儀・埋葬・手元供養ー | 瓜生 大輔 (芝浦工業大) |
| 7. 11:30-11:50 | 散骨が生む死者の居場所ー米国ディズニーと MLB 球場を事例にー | 和栗 隆史 (全国寺社観光協会附属研究所) |
| 8. 11:55-12:15 | 喪の作業ー「喪とメランコリー」における対象喪失と再構築ー | 田口 博子 (白百合女子大) |
| 9. 12:20-12:40 | 葬送儀礼の変容とその背景ー葬儀社へのインタビュー調査よりー | 高瀬 顕功 (大正大) |

【午後】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|---------------|
| 1. 13:30-13:50 | 現代美術における民族誌的転回と“呪術”の位相 | 稲村めぐみ (東大) |
| 2. 13:55-14:15 | 原始宗教文化の配置ー戦後日本におけるトーテムポールを巡ってー | 土居 浩 (ものづくり大) |
| 3. 14:20-14:40 | 聖物の動態学ー複製・増殖・移動のダイナミズムー | 岩井 洋 (帝塚山大) |
| 4. 14:45-15:05 | (発表なし) | |
| 5. 15:10-15:30 | (発表なし) | |

9月13日(日)

【午前】

- | | | |
|----------------|---------------------------------|----------------|
| 1. 9:00-9:20 | 救急医療に従事する医師の「医師化」と死生観の変化 | 川崎 磨美 (東北大) |
| 2. 9:25-9:45 | 現代日本における医師たちの良い死言説ー久坂部羊を中心にー | 横濱佑三子 (上智大) |
| 3. 9:50-10:10 | 死の宗教性とその現在ー遺品整理士の事例からー | 堀内 裕子 (東大) |
| 4. 10:15-10:35 | 宗教文化と獣医療ー日本とタイの比較ー | 高橋 優子 (酪農学園大) |
| 5. 10:40-11:00 | 亡き人への手紙ポストの比較検討ー公開性と宗教的なものー | 高多 留美 (上智大) |
| 6. 11:05-11:25 | ハレの日を自宅で共に迎えるー介護福祉と民俗の接点ー | 相澤 出 (東北医科薬科大) |
| 7. 11:30-11:50 | 再審無罪・元死刑囚の宗教観と教誨師の支援 | 萩原 修子 (熊本学園大) |
| 8. 11:55-12:15 | QOL という視点と宗教ー身体・感情・認知・言語・行動を軸にー | 土居 由美 (神奈川大) |
| 9. 12:20-12:40 | 高齢者施設における死者儀礼とその対応 | 山田 慎也 (国立歴史民俗) |

【午後】 パネル

-
- | | | |
|--------------------------------|--------------------------------|-----------------|
| ユニヴァーサルイズムの霊性思想運動とアジア主義 | | 代表者： 莊 千慧 |
| 13:30-15:10 | 海を渡った太霊道ー近代中国における民間精神療法の展開ー | 栗田 英彦 (愛知大) |
| | 「満洲国」と中華民国の宗教政治史ー道院・世界紅卍字会の活動ー | 玉置 文弥 (日本学術振興会) |
| | 「国際協力」とアジア主義ー近代上海神智学運動の事例からー | 莊 千慧 (神戸女子大) |
| | コメンテーター： 島菌 進 (大正大) | |
| | 司会： 莊 千慧 (神戸女子大) | |
-

第9部会（C棟3階C301）

9月12日（土）

【午前】

- | | | |
|----------------|-------------------------------|--------------|
| 1. 9:00-9:20 | 信仰治療から健康法へー世界救世教の「浄霊」を事例にー | 仲嶋 真優（上智大） |
| 2. 9:25-9:45 | 『読売新聞』からみる現代日本における漢方言説 | 仲地 紀迪（東北大） |
| 3. 9:50-10:10 | 湯浅泰雄の気概念と身体技法観ー気功を中心にー | 鳥飼美和子（上智大） |
| 4. 10:15-10:35 | ウォルドロン尊厳論から考える「死者の尊厳」概念の試み | 佐藤 啓介（上智大） |
| 5. 10:40-11:00 | 高齢者のスピリチュアルケアと共福概念の宗教学的的研究 | 酒谷 薫（同志社大） |
| 6. 11:05-11:25 | AI時代における死生観と医療意思決定 | 冲永 隆子（帝京科学大） |
| 7. 11:30-11:50 | AIに生き方を相談するーセラピーとスピリチュアルへの含意ー | 小池 靖（立教大） |
| 8. 11:55-12:15 | 臨死体験は意識の死後存続問題にどこまで答えられるのか | 岩崎 美香（明大） |
| 9. 12:20-12:40 | 死を語り直す量子論ー「科学的スピリチュアリティ」の系譜ー | 伊藤 雅之（愛知学院大） |

【午後】

- | | | |
|----------------|-------------------------------|---------------------|
| 1. 13:30-13:50 | 公共領域における「潜在的宗教性」ー天理教里親養育を例にー | 青木 繁（東京科学大） |
| 2. 13:55-14:15 | 「聴きだすけ」と「話一条」ー天理教の布教についての一考察ー | 堀内みどり（天理大） |
| 3. 14:20-14:40 | 19世紀以降のフランス・カトリック世界と「貧困」問題 | 寺戸 淳子（国際ファッション専門職大） |
| 4. 14:45-15:05 | 防災の取り組みにおける宗教者と多様なアクターの連携 | 稲場 圭信（阪大） |
| 5. 15:10-15:30 | （発表なし） | |

9月13日（日）

【午前】

- | | | |
|----------------|---------------------------------|---------------------|
| 1. 9:00-9:20 | （発表なし） | |
| 2. 9:25-9:45 | 歌謡曲における「願い」の特質ーLLMを用いた「祈り」との比較ー | 和田 理恵（東大） |
| 3. 9:50-10:10 | アニメ雑誌投稿欄にみるオタク文化とスピリチュアリティ | 孫 雅然（東北大） |
| 4. 10:15-10:35 | 日本現代文学における「異世界転生」のテーマに見る死後世界観 | パッサポーン・ターラーズック（東北大） |
| 5. 10:40-11:00 | 「トロッコ問題」に対する日本のサブカルチャー作品の反論 | 三浦 宏文（舞鶴工業高専） |
| 6. 11:05-11:25 | 1980年代における福来友吉の再発見 | 霍 嘉琪（東北大） |
| 7. 11:30-11:50 | 怪異譚へと内包される情報の一考察 | 古山 美佳（國學院大） |
| 8. 11:55-12:15 | 占星術インフルエンサー“界限”のデジタル・エスノグラフィー | 鈴木 万葉（千葉大） |
| 9. 12:20-12:40 | 占いにおける“予測記憶”ー認知宗教学の視点からー | 井上 順孝（國學院大） |

【午後】 パネル

信仰の内と外の対話ー当事者性と公共性のあいだー		代表者：溪 英俊
13:30-15:30	多元化する「信教の自由」ー公共空間への視座ー	斎藤 謙次（松緑神道大和山総合研究所）
	浄土真宗における公共性の論理ー当事者性と社会ー	溪 英俊（龍大）
	戦後日本の宗教規制再考ー1950年代の動向を中心としてー	隈元 正樹（新日本宗教団体連合会）
	宗教者における信仰継承と現代社会との関わりについて	菅野 龍清（日蓮宗現代宗教研究所）
		コメンテータ：弓山 達也（東京科学大）
		司会：溪 英俊（龍大）

第10部会 (C棟3階 C302)

9月12日(土)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|------------------|
| 1. 9:00-9:20 | (発表なし) | |
| 2. 9:25-9:45 | 正法眼蔵と原理講論の中の「戦争と性愛」 | 別府 良孝 |
| 3. 9:50-10:10 | 富士大石寺頭正会の「日本」をめぐる言説 | 芳賀 徳仁(大正大) |
| 4. 10:15-10:35 | 教祖伝文学の研究に向けてー宗教学的先行研究を踏まえてー | 坪井 俊樹(東大) |
| 5. 10:40-11:00 | 宗教法人における譲渡・承継の類型試論 | 武井 順介(立正大) |
| 6. 11:05-11:25 | 自明性という死角ー靈感商法をめぐる不安言説と解釈的労働ー | ヤニス・ガイタニディス(東北大) |
| 7. 11:30-11:50 | 宗教2世の「被害」ー統一教会2世を中心にー | 中西 尋子(大阪公立大) |
| 8. 11:55-12:15 | 2世信者におけるアイデンティティの変容ー分裂と統合についてー | 正田 文希(國學院大) |
| 9. 12:20-12:40 | 山上裁判と宗教二世問題ー宗教研究の方法と模索ー | 櫻井 義秀(北大) |

【午後】

- | | | |
|----------------|---------------------------------|--------------------|
| 1. 13:30-13:50 | 少年院・本をめぐる対話する場所の構築 | 町田 りん(上智大) |
| 2. 13:55-14:15 | 大学生の思考力養成と宗教学的の寄与ーチュートリアル学修を例にー | 土井 裕人(筑波大) |
| 3. 14:20-14:40 | 都市祭礼の時間・規模・管理ー仙台市「どんと祭」のデータ分析ー | 高橋 嘉代(桜の聖母短大) |
| 4. 14:45-15:05 | 熊野古道の記憶ー寄せ書き帳から読み解く現代巡礼ー | ジョセフ・デッカー(インディアナ大) |
| 5. 15:10-15:30 | 内外巡礼の動機と経験価値構造の連関に関する予備的考察 | 南地 伸昭(甲南大) |

9月13日(日)

【午前】

- | | | |
|----------------|-------------------------------|---------------|
| 1. 9:00-9:20 | インドネシアの法体系にみる公共宗教の限界 | 岡田 亜里(東北大) |
| 2. 9:25-9:45 | 「カバディ」の日本受容と仏教ネットワークの役割 | 金澤 豊(仏教伝道協会) |
| 3. 9:50-10:10 | 現代台湾の寺廟と農民暦 | 今井 功一(國學院大) |
| 4. 10:15-10:35 | 近代ベトナム仏教復興運動とベトナム仏教のナショナルな意識 | 菅原 一花(東大) |
| 5. 10:40-11:00 | 在外ベトナム仏教寺院間の越境と地域連関ー欧州事例を中心にー | 清藤 隆春(北九州市立大) |
| 6. 11:05-11:25 | 沖縄における象徴的土地環境改善の装置 | 鈴木 一馨(鶴見大) |
| 7. 11:30-11:50 | 在カナダ華人教会の成長と分化ー出身地・世代・宗教的背景ー | 大場 あや(上越教育大) |
| 8. 11:55-12:15 | カトリック教会の多言語ミサーペナン島司教代理区の事例ー | 岡光 信子(中央大) |
| 9. 12:20-12:40 | 言説のアレヴィー認識のフィールド調査による社会的宗教的検討 | 佐島 隆(大阪国際大) |

【午後】 パネル

谷口雅春の実相哲学の内包と外延

代表者：喜多 源典

13:30-15:10 谷口雅春の神癒言説とその継承ー徳久克己を中心にー

寺田 喜朗(大正大)

谷口思想の外延的展開ー翻訳書含む思想環境と精神世界との交差ー

伊藤耕一郎(関西大)

実相哲学の特質と救済論的展開ー榎本恵吾の『原案』を中心にー

喜多 源典(関西大)

コメンテータ：對馬 路人

司会：寺田 喜朗(大正大)

録画発表部会 9月11日(金)～20日(日)

本部会では発表者が作成した発表動画のリンクを集約・共有し
Slack のチャンネル機能を用いて質疑応答を行います
詳しくは個人発表の募集要項 (<https://bit.ly/ko-yoko-85>) をご覧ください
大会事前参加申込者には、事前に Slack への招待と動画の URL が送られます

【第1チャンネル】

- | | |
|-----------------------------------|------------------|
| 1. 辰口信夫軍医の日記におけるキリスト教信仰と「玉砕」の再考察 | 棚瀬 裕文 |
| 2. 『フルーネンダール修道院の起源』とデヴォーチオ・モデルナ | 菊地 智 (アントウェルペン大) |
| 3. アメリカ合衆国における政教分離と「古典教育運動」 | 佐藤 清子 (東京外国語大) |
| 4. 北米宗教学の動向ー『宗教学必須用語』初版・第2版の比較からー | 藤原 聖子 (東大) |

【第2チャンネル】

- | | |
|-----------------------------------|--------------|
| 1. スーフィー志願者に対する霊的教育 | 澤井 真 (天理大) |
| 2. スィルヒンディーのマートゥリーディー派への帰属に係る予備考察 | 松山 洋平 (東大) |
| 3. 婚約、結婚契約での女性の自由意思の貫徹のイスラーム法規定 | 四戸 潤弥 (拓殖大) |
| 4. 意図と穢れーユダヤ教における清浄規定の構造ー | 勝又 悦子 (同志社大) |

【第3チャンネル】

- | | |
|---------------------------------|--------------|
| 1. 『モンゴル仏教史』における仏教文献の引用 | 阿部 真也 (大正大) |
| 2. アビダルマ仏典をどう読むかーAI 協働による大規模分析ー | 藤井 淳 (駒大) |
| 3. 法華教学史における「内鑑冷然」と「中道」 | 長倉 信祐 (富士学林) |
| 4. 「化身土文類」解釈に関する研究史的考察 | 近藤 義行 (龍大) |
| 5. 『修習次第経集』に引用される『涅槃経』について | 望月 海慧 (身延山大) |

【第4チャンネル】

- | | |
|----------------------------------|---------------|
| 1. ある臨死体験と信仰 | 野村 任 (國學院大) |
| 2. 大正期霊術 (精神療法) における明治天皇御製の利用 | 平野 直子 (早大) |
| 3. 龍口法難会における祭礼の変容ー牡丹餅講から鎌倉移住者までー | 小高 絢子 (身延山大) |
| 4. 小堀鞆音の厳島関係画題における神社空間と宗教的権威の可視化 | 小堀 馨子 (帝京科学大) |

『宗教研究』別冊用要旨 作成と提出の注意

個人発表（対面／録画）・パネル発表共通

『宗教研究』別冊への掲載は、発表を行い、以下ⅠⅡを満たした方に限ります。

- Ⅰ 大会ホームページの「別冊要旨・入力ファイル」のバーからダウンロードした『宗教研究』100巻別冊要旨・入力ファイル（Word）に入力した要旨を、9月18日（金）までにメール添付で送信した方。
 - Ⅱ 提出原稿の書式が規定にそっている方。（大会HP掲載の「入力ファイル」（Word）のページ設定変更は不可）発表題目はプログラムと同一にしてください。理事会承認後の発表題目の変更は一切認められません。
- パネル発表は、代表者が全員分をとりまとめて送信してください。

① 締切日：9月18日（金）（受付開始：8月20日）

送信先：『宗教研究』編集委員会

【注意】発表形態によって送信先のメールアドレスが異なります。また、送信先が昨年度と異なります。

個人発表（対面／録画） shukyokenkyu(at)gmail.com (at)を@に変えて送信してください。

パネル発表 ja-religion(at)mub.biglobe.ne.jp (at)を@に変えて送信してください。

メールの件名・添付ファイルの名前：別冊要旨 発表者名（例：別冊要旨 鈴木花子）

メールを受信した時は、必ず返信を出します。

（受信した順に添付ファイルを開いて作業を行うため、返信に数日いただく場合があります）

② 提出原稿の書式など（規定にそっていない場合は掲載できません）

・個人発表（対面／録画）について

日本語による発表の要旨は、日本語でお書きください。英語による発表の要旨は、日本語または英語（日本語で提出した場合もタイトル・氏名は英語）でお書きください。

・パネル発表について

「パネルの主旨とまとめ」と「パネルの欧文タイトル」（いずれも代表者が執筆）、「発表要旨」（発表者が執筆）、「コメント」（コメンテーターが執筆）の提出を原則とします。

外国語による発表者を含まないパネルは、日本語で統一してください。

・要旨について（全発表共通）

大会HP掲載の「入力ファイル」（Word）のページ設定の変更は不可。

注記、参考文献一覧、付記は認めない（要旨中に丸括弧で挿入する）。図表等の掲載は不可。

母語でない要旨を提出する方は、個人発表は本人の責任で、パネル発表は代表者の責任で、必ずネイティブチェックを受けてください。編集委員会は、提出された要旨をそのまま掲載します。

・書式（日本語による発表）

縦書き、文字サイズ10.5、40字×40行以内（文字数ではありません）

日本語のフォント：MS明朝（ゴシック・太字の使用は不可）

縦書きのため、邦文は原則として漢数字・常用漢字・現代仮名づかいを用いる。

・書式（英語による発表）

横書き、文字サイズ：10.5、650 words 以内

フォント：Century（太字の使用は不可）

・欧文タイトルについて

英語、独語の場合は、邦文題目に照らしてネイティブスピーカーが手を加えることがあります。

9月18日（金）までに、『宗教研究』編集委員会（①に記載のメールアドレス）に送信されなかった場合は、掲載不可となります。いかなる事由であっても（自然災害を含む）、発表を行わなかった人の要旨は掲載できません。提出された要旨の変更および取り下げは認められません。

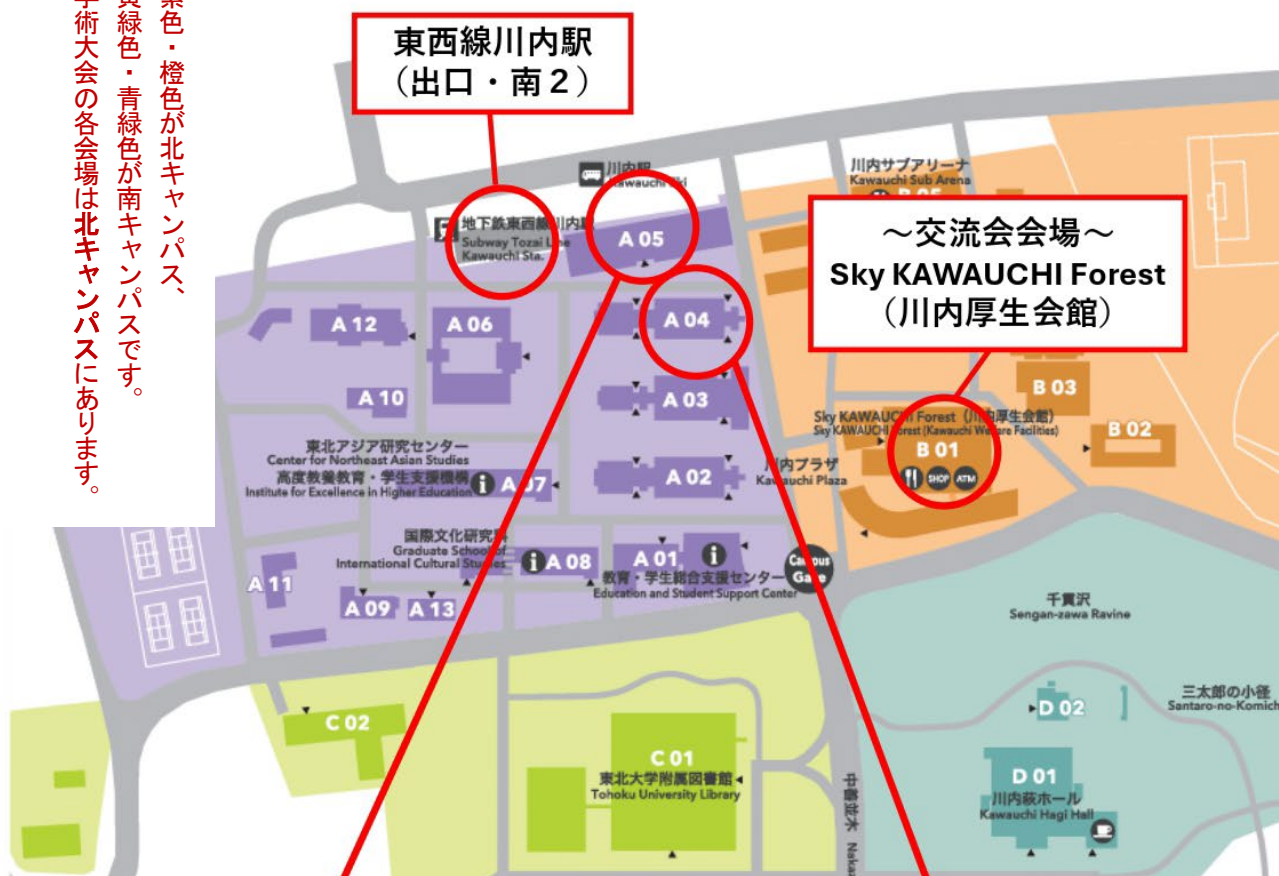
『宗教研究』編集委員会



東北大学 川内キャンパス

TOHOKU UNIVERSITY Kawauchi Campus

紫色・橙色が北キャンパス、
黄緑色・青緑色が南キャンパスです。
学術大会の各会場は北キャンパスにあります。



東北大学
マルチメディア教育研究棟
(シンポジウム・総会会場)



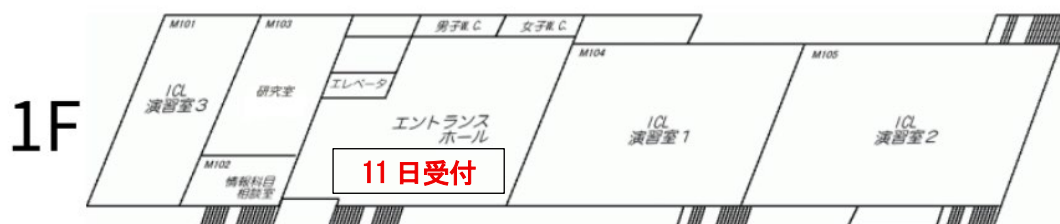
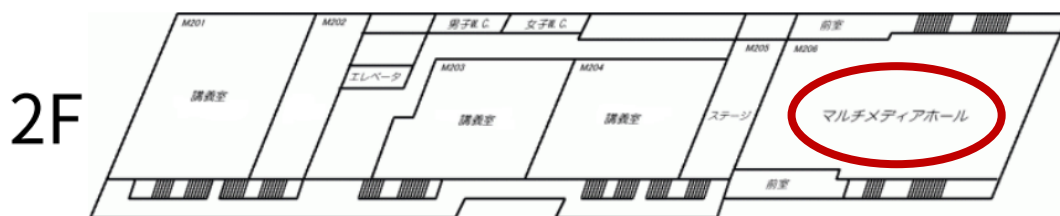
C棟 (9/12-13受付・部会会場)



マルチメディア教育研究棟
エントランス (9/11受付)

9月11日(金)公開シンポジウム・12日(土)会員総会

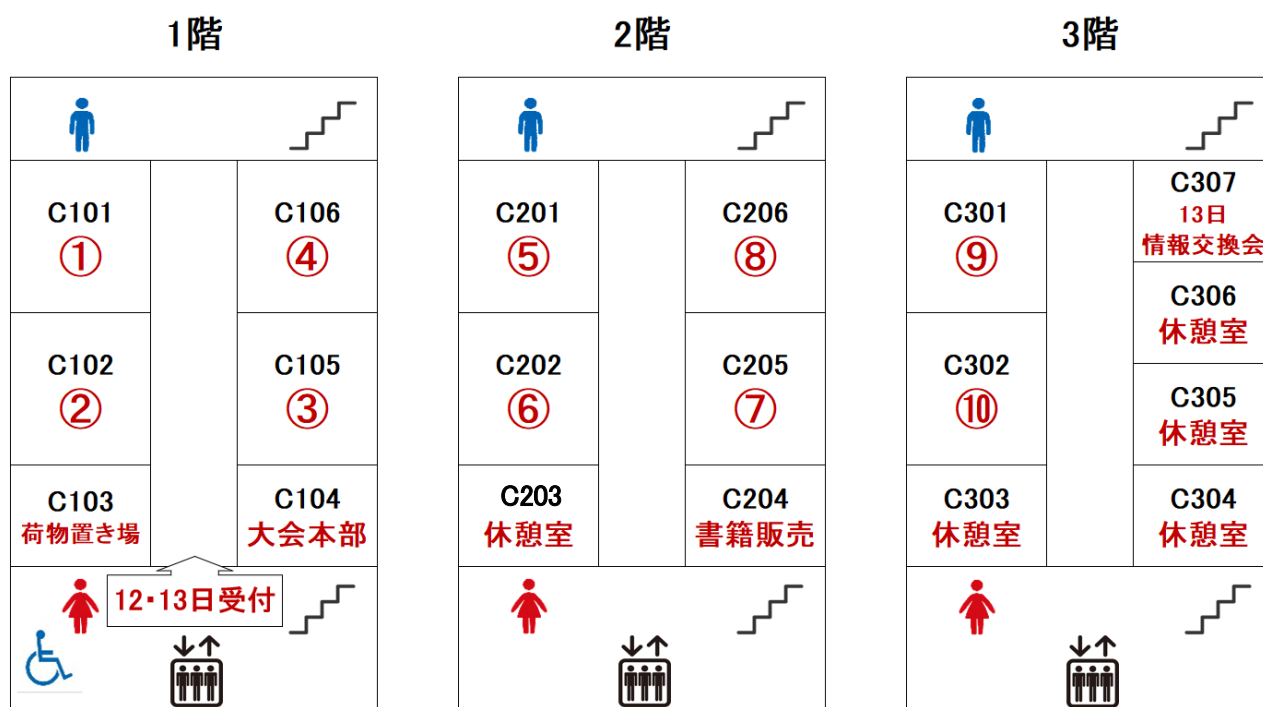
会場：マルチメディア教育研究棟 2階 マルチメディアホール



地下鉄東西線 川内駅 南2出口から徒歩すぐ

9月12日(土)・13日(日) 個人発表・パネル発表

会場：C棟 1・2・3階 ①～⑩が各部会会場



日本宗教学会 第 85 回学術大会実行委員会

E-mail : jars85th(at)gmail.com (at)を@に変えて送信してください。

HP : <https://jpars.org/conference/>